

SNSでかんたん
つながりづくり!

番外編

YouTube 「きづがわチャンネル」 ができました

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、外出自粛をしないといけない状況が続きます。家にいてもつながりを持ちたい、体操をおこないたい。そんな組合員さんの要求がありオンライン班会「きづがわ体操」を動画視聴サービスYouTubeで視聴できるようになりました。

一人で家にいても「身体を動かせる、つながれる」きづがわ体操で外出自粛期間の健康づくりに取り組みましょう!

とっても簡単 きづがわ体操視聴の手順
(パソコンでもスマホでもできます!)



1 YouTubeをひらく



2 検索で「大阪きづがわ」と調べる



3 この画像の動画をクリック



QRコードからでも見られます



YouTubeのコメントやみらいの投稿では是非感想を送ってください。また、外出自粛で困っているお知り合いの方にこの動画をお知らせください。

小規模多機能 って何?

小規模多機能は、新施設に併設するグループホームのように、入居するのではなく、自宅暮らしながらサービスを受けることができる在宅型のサービスです。愛着のある環境からはなれることなく、ご自身のお家から利用できる通いサービスを中心に、訪問、宿泊の各サービスの一つの事業所で実現。通いの時間帯や訪問回数、宿泊の曜日は、これまでの本人の生活に合わせて設定可能なので、「午前中、受診してから利用したい」「週に1回だけ定期的に宿泊したい」など、既存のサービスでは実現が難しかった要望にも、柔軟に対応することが可能です。また、在宅型のサービスでありながら、居住施設のように24時間365日対応できるのも特徴です。

グループホームは どんなところ?

日曜日もし楽しめるデイサービスはない? 急用のときに泊まれる施設がないかな? そんな介護の悩み、お気軽にご相談ください。
住み慣れた自宅で、いつまでも安心して暮らしたい。誰もががいてほしいに寄り添えるよう、施設づくりをすすめています。
認知症グループホームは、「認知症対応型共同生活介護」として介護保険上に位置付けられ、認知症の人へ少人数(5人から9人)を単位とした共同住居の形態でケアを提供しています。家庭的で落ち着いた雰囲気の中で、食事の支度や掃除、洗濯などの日常生活行為を利用者やスタッフが共同で行うことにより、認知症状が穏やかに安定した

生活と本人の望む生活を実現することができず。

認知症の人にとって生活しやすい環境を整え、少人数の中で「なじみの関係」をつくり上げることにより、生活上のつまづきや認知症状を軽減し、心身の状態を穏やかに保ちます。また、過去に体験した役割を見出すなどして、潜在的な能力に働きかけ、認知症の人の失いかけた能力を再び引き出し、本人らしい生活を再構築することが可能となります。

楽しみや潤いのある普通の生活を送ることができるように支援することを何よりも優先しています。



グループホームでの利用者さんの様子

建設に向けての 増資のお願い

医療福祉生協は、組合員さんの出資金によって運営されています。集まった出資金は医療福祉生協の運転資金として使われ、時には新しい機器を購入する際に使われてきました。医療生協は組合員さんの出資金に支えられています。

「元気で長生き夢ばらん」の実践となる新施設の建設のために、現在「大増資運動」を実施中です。大阪きづがわ医療福祉生協のすべての組合員さんにとっていつまでも安心して暮らせる施設づくりを進めています。建設に向けての増資に是非ご協力ください。



天龍寺 嵐山を借景にした壮大な庭

がもう健の「びっくり史跡巡り」 第59回 日記

Profile がもう 健

- 1935年 大阪市住吉区生まれ
- 大阪府議会議員四期(西成区選出)
- 郷土史家
- 大阪きづがわ医療福祉生協前理事長
- 著書「今昔木津川物語」「今昔西成百景」など

足利尊氏が後醍醐天皇の菩提をとむらうために、自ら土石を運んで五年がかりで建てた寺として知られ、夢窓国師を開山として臨済宗天龍寺派の総本山。
境内では唯一当時のままの姿を残す池泉回遊式の曹源地庭園は、臨済宗の禅僧であり、作庭に秀でた夢窓疎石が手掛けた壮大な庭園。
その伽藍をつくるために、夢窓は幕府に中園(元や明)との通商貿易を開くよう進言しその貿易船は遣明船として活躍した。
〔暦応元年(一二三三)〕
征夷大將軍に任じられた尊氏が政敵である後醍醐天皇のために築き上げた「のだね」と次郎。
「ところが、京都国立博

物館所蔵の足利尊氏像は、鎧を着て馬にまたがっているのに、兜はかぶっていない。髪型は「ざんばら髪」その人相は口をへの字に曲げ、ひげをたくわえ見るからに「悪玉」だ。
しかも、抜いた刀を肩にかつぎ、背負った六本の矢のうち一本は折れているなど、いかにも落ち武者のいで立ち。じつはこの肖像、従来は唯一の足利尊氏像と考えられてきたが、近年は別の人物ではないかと言われたしている。
「尊氏をいったん朝敵と決めつければ、永久に極悪人扱いして何とも思わない、日本の歴史学とはいったい何なのか」と次郎。
「本当にそっちの方が恐ろしい」と友子。

新型コロナウイルスワクチンと 各事業所の感染対策

訪問看護と病児保育

大阪では5月より一部の高齢者のワクチン接種がはじまりました。ワクチンの役割は？ 打てば防げる？ たいしょう生協診療所所長の小滝和也先生にお話を伺いました。
また、きづがわの事業所での感染対策の取り組みについて、6月号では訪問看護ステーションさくら通りと病児保育室まつぼっくりがおこなっている感染対策と現状をお伝えいたします。

新型コロナウイルスワクチンについて

● ワクチンの効果

新型コロナウイルスには、重症化を防いだり、発熱やせきなどの症状が出ること（発症）を防ぐ効果があります。接種を受けていただくことで、重症者や死亡者が減ることが期待されています。

● 接種後の副反応

一方で、接種後の副反応として、接種部位の痛み、頭痛・倦怠感、筋肉痛などが報告されているほか、ごくまれに、接種後のアナフィラキシー（急性のアレルギー）が報告されています。日本で承認されているファイザー社のワクチンに関して、一番多い副反応は接種部位の痛みです。海外の臨床試験では7割程度の高齢者に起こるとの

結果が出ています。これは高齢者で注意が必要な症状というわけではなく、また、若年者よりも少し頻度が低いとされています。

その他、頻度の高い副反応として、倦怠感、頭痛、悪寒、筋肉痛、関節痛などが起こることがありますが、たいいてい数日以内で良くなるものが分かっています。

いずれの有害事象も、高齢者で発生頻度が上がっているというものではありません。

また、ワクチン接種後でも新型コロナウイルスに感染する可能性はあります。

● 接種は3週間の間隔で2回、 どれくらい発症を防げるの？

ファイザー社の新型コロナウイルス



ある人は主治医と相談した上で接種をご検討ください。
【たいしょう生協診療所医師 小滝和也】



コロナ禍での医療機関 訪問看護ステーション さくら通りでは

― 患者さんの日常を守るために ―

振り返ると、第一波が来た昨年の3月頃は、未知のことが多く現場も混乱して試行錯誤の毎日でした。発熱した利用者さんも、看護師の完全防備（頭キャップ、アイシールドマスク、手袋、ガウン）での訪問に不安を募らせたのではないのでしょうか。

当初は発熱した本人が、保健所に連絡してPCR検査を受けるシステムでも通じない、連絡が取れても検査の予約の連絡が来ない、結局検査されずに放置されるという方もおられました。ある利用者さんは独居で、発熱したためデイサービスを休まなければならぬ日中の生活をどう支えるかで苦労しました。ヘルパーや配食サービスの利用が出来たので何とかりましたが、そうした症状が出たとたん普段の生活が崩れてしまうコロナの恐さを感じました。

また訪問していた方でコロナとは別の病気で入院となった方は、娘さんの



面会が出来ず、認知症と下肢筋力の低下が進み、退院しても元のような生活が難しく新たに入所施設を探さなければいけなくなっていました。娘さんが、入院させないほうがよかったと落胆しながら他施設を探すのに奔走していた顔が忘れられません。

訪問で、マスク対マスクでは表情も見えにくく、きちんと観察が出来てくるか、微妙な表情の変化や気持ちの変化がくみ取れるか、コミュニケーションにも苦労します。またご家族が濃厚接触者で訪問できなかったこともあり、現在第四波ですが、気温も上昇しガウンやマスクをしてお風呂介助や、清拭など暑くてこちらがふらふらすることもあります。スタッフの健康面やメンタル面も心配です。お互い、声を掛け合って乗り切りたいです。

【訪問看護ステーションさくら通り
吉村洋子】

コロナ禍の病児保育 安心して利用できる環境を



は、通常、3週間の間隔で2回接種します。最も高い発症予防効果が得られるのは、2回目を接種してから7日程度経って以降です。体の中である程度の抗体ができるまでに1〜2週間程度かかるため、1回目の接種後から2週間程度は、ワクチンを受けていない方と同じくらいの頻度で発症してしまうことが論文等でも報告されています。また、治験においてワクチンを2回接種した場合の有効率は約95%と報告されており、100%の発症予防効果が得られるわけではありません。

● 力をあわせて 流行を食い止めよう

大阪では未だに新型コロナウイルスの流行が制御できていない状況とは言えません。できるだけ多くの人がワクチンを接種したほうが、流行を食い止めるためにも必要でしょう。基礎疾患の

病児保育を利用する子どもの症状は発熱、咳、胃腸炎、インフルエンザ、水痘など様々です。新型コロナウイルスの流行で今まで通りの受け入れが難しくなりました。保育室は3部屋、どのように過ごすか何度も話し合い、現在は、一部屋に一人の受け入れにしています。感染対策として各部屋に空気清浄機を設置、エアコン洗浄消毒、抗菌塗布を行いました。また、保育室の換気・消毒を日々徹底し安心して利用していただける環境づくりに取り組んでいます。

2020年度の延べ利用は382人と例年の3分の1でした。利用が減少した理由として、コロナの影響で仕事が休めた・休まないといけなかった、元気が過ごしたなどがあげられます。

コロナ禍で子どもを受け入れる難しさはありますが、病児保育を必要とする声をたくさん聴く機会にもなりました。恒例のクリスマス会やもちつきなども昨年は中止しましたが、コロナが落ち着いたら、元気な子どもや保護者につながれる企画も考えていきたいです。

まつぼっくりのホームページでは、利用状況や保育室の様子を案内していますので、ぜひご覧ください。

【病児保育室まつぼっくり 前田梨子】

病児保育室
まつぼっくり
TEL 06-6656-6105
QRコード
ホームページ

